

### リチャード・フロリダの国際創造性指標

リチャード・フロリダが、近著 “ The flight of the creative class ”( 2005 年 ) の中で試みた、世界主要国の創造性指標による評価。

各国横並び評価のために、許容性指標等の中身を前著「創造的階級の興隆」( The Rise of the Creative Class ) (2002 年 ) から大幅に入れ替えている。

日本は、価値観指標、イノベーション指標で大きく優位であり、一方、自己表現指標で大きく立ち遅れている。これらを統合した創造性指標では、日本は評価対象国 45 カ国の中の 2 位となっている ( 1 位はスウェーデン、3 位はフィンランド、4 位が米国 )。

国際許容性指標 ( Tolerance )	価値観指標	ミシガン大学のアンケート結果による、各国民の伝統あるいは宗教に対する価値観を表す指標。指標値が大きいほど、近代、世俗を、伝統、宗教より重視。
	自己表現指標	同じくミシガン大学のアンケート結果による、個人の権利や自己表現に対する価値観を表す指標。指標値が大きいほど、個人の権利、自己表現を重視。
国際テクノロジー指標 (Technology)	R&D 指標	世界銀行データによる、1999～2000 の各国の研究開発費 ( R&D 費 ) の対 GDP 比率。
	イノベーション指標	米国特許庁データによる、2001 年の各国の人口当たり特許申請件数。
国際人財指標 (Talented)	人的資本指標	各国の 25-64 歳人口に占める学士もしくは専門学位の保持者比率
	科学技術者指標	各国の人口当たり研究科学者・技術者数
国際創造性指標	日本は被評価国中 2 位	許容性指標、テクノロジー指標、人財指標の総合値
クリエイティブ・クラス	日本は評価対象とされていない。	ILO の職業分類による、科学者、技術者、芸術家、クリエイター、マネージャー、専門家、技師の人口比率

( 出典 ) Richard Florida [2005] “The Flight Of The Creative Class: The New Global Competition for Talent” をもとに国土交通省国土計画局作成。